



私が建てた二世帯は、 息子が帰る場所でもあった。

息子が家庭をもち家を出て、また妻との二人ぐらしに戻った。

30年前、父の家を二世帯住宅に建て替え、

私の4人家族と、父母との二世帯ぐらしが始まった。

介護はプロに頼みつつ、心配なときすぐ部屋をのぞけるから、

二世帯は離れてくらすより安心だった。

親父とお袋の死に直面し、泣き続ける息子の姿は心が痛んだ。

子どもたちに、私たち夫婦の老後の面倒を見てもらうつもりはなかった。

この家を引き払い、施設のお世話になるつもりだった。

息子にそれを話したら、「僕の帰る場所がなくなるだろ」と叱られた。

そのことを妻に伝えたら、いろいろ苦勞をかけた彼女は言った。

ふふ、二世帯も悪くなかったみたいね。涙がこぼれた。

二世帯ぐらし30年、今、笑っている。

考えよう。答はある。

ヘーベルハウス

事実。二世帯で同居をしている「孫の74%」が「その家を住み継ぎたい」と答えています。

(旭化成ホームズ「30年暮らした家族による二世帯住宅の評価と住まい継承の実態」調査より)

二世帯住宅の資料のご請求はフリーダイヤルまたはホームページでお気軽にお申し込みください

0120-917-555

電話受付時間/10:00~17:00(火曜・水曜定休日)
※地域により留守番電話になっている場合がございます。

ヘーベルハウス 30年満足

検索

ハガキでの資料請求は、左の資料請求券を貼り、住所・氏名・電話番号・建築予定地をご記入の上、右記宛先へお送りください。〒160-8345 新宿区西新宿1-24-1 エステック情報ビル 旭化成ホームズ営業推進部
【個人情報の利用目的について】お問い合わせ・資料請求でいただいた個人情報は、●カタログ・資料の送付、見学会・セミナー等の各種イベントのご案内 ●建築計画の提案、図面・書類等の作成のための各種調査・サービスのご提供 ●商品やサービス等の開発・改善のためのアンケート調査の実施等に利用させていただく場合があります。詳しくは「プライバシーポリシー」として弊社ホームページにて公表しています。